労働保険電子申請 取扱説明書

一括電子申請方式による年度更新申告(継続事業) 平成27年版



電子申請する前に・・・ 事前チェック

www.cells.co.jp

- 社会保険労務士の電子証明書はパソコンにインストールされていますか?また有効期限は切れていませんか?
- □ 台帳起動画面の「事務所情報他」から連絡先に関する情報が登録されていますか?
- □ 事業所台帳の会社情報フォーム「基本データ」タブに、電子申請で利用できない文字 が含まれていませんか?(住所欄にローマ数字、名称や氏名に機種依存文字など)
- 事業所台帳の会社情報フォーム「電子申請」タブに、PDF形式の提出代行証明書が 登録されていますか?またファイル名に添付ファイルで利用できない文字が含まれ ていませんか?(ファイル名に㈱や全角スペース、半角スペースなど)
- 事業所台帳の会社情報フォーム「電子申請」タブに、電子申請で利用できない文字が含まれていませんか?また住所欄は都道府県名から登録されていますか?

電子申請で利用できない文字



ローマ数字(I Ⅱ Ⅲ Ⅳ V Ⅵ Ⅲ Ⅲ 区 X)、機種依存文字(髙、﨑、㈱、예など) 半角カタカナ

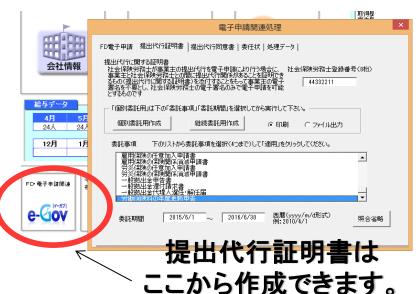
添付ファイルで利用できない文字



-(全角マイナス)、-(全角ダッシュ)、//、~、¢、£、¬ 〈、>、#、%、"、{、}、/、¥、^、[、]、`、(半角スペース)、(全角スペース)□

www.cells.co.jp



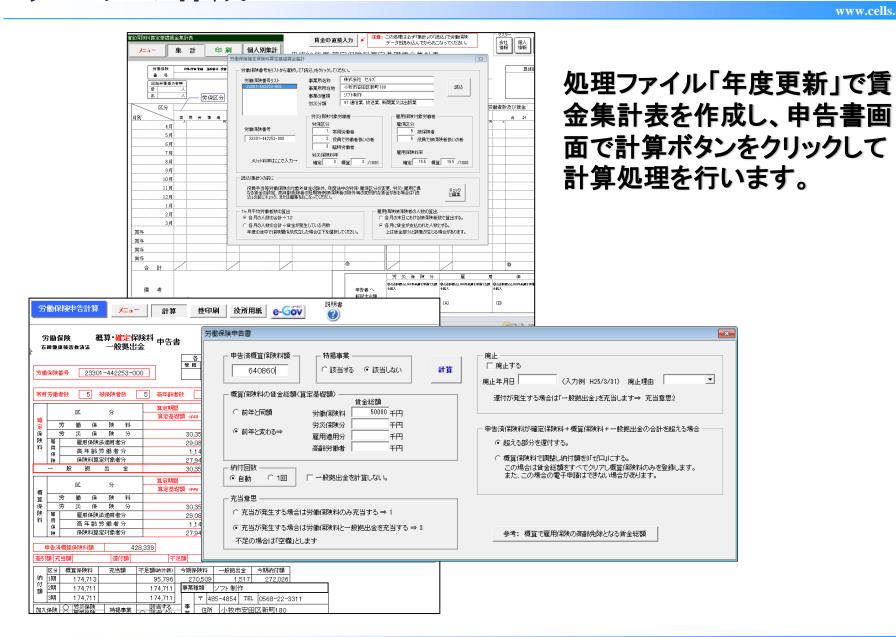


電子申請タブに事業所の情報を登録します。提出代行証明書はPDF形式に限定されています。

- 労働保険の一括電子申請は、事業主の印鑑の代わりに提出代行 証明書(PDF)を利用します。
- 提出代行証明書はデスクトップやマイドキュメントなどに保存し、 参照ボタンで保存した場所を選択します。
- 「同」ボタンをクリックすると「基本データ」に登録したデータが反映されます。
- 電子申請タブの情報は、細かい入力規則があり、入力規則どおり に登録されていないと、電子申請後、エラ一扱いとなることがあり ます。特に所在地フリガナでアルファベットは利用できませんので ご注意ください。(例:2Fの「F」、マンション名などのⅡ、Ⅲ)
- スポットなどで、提出代行証明書を取得していない事業所の場合、 年度更新の電子申請に限り、労働保険番号とアクセスコードが記載されている申告書PDFファイルを提出代行証明書(PDF)に設定して下さい。

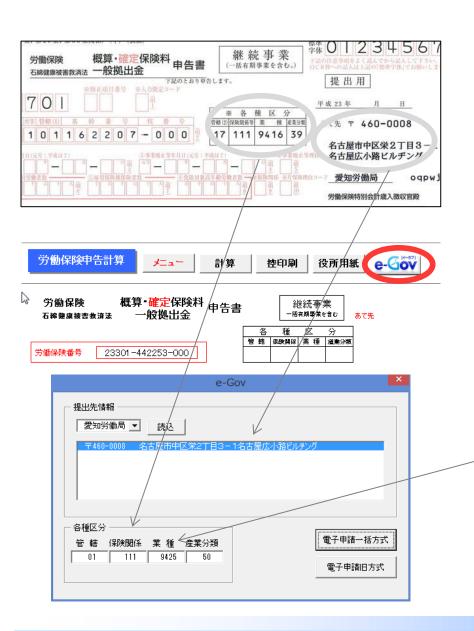
データの作成

www.cells.co.jp



各種区分、提出先情報の設定

www.cells.co.jp



eGovボタンをクリックして申告書 に記載されている提出先労働局 住所、各種区分を設定して電子申 請一括方式をクリックします。



- 提出先情報、各種区分の情報を設定した後に、保存データ(処理 ファイル年度更新のメニュー画面から作成)を作成すれば、翌年度 は設定した情報が自動的に読み込まれます。
- 提出先情報で労働局を選択した後、「読込」ボタンをクリックすると 住所が表示されます。
- 平成26年4月1日より、業種を示す4ケタの区分が一部改正されました。改正後の正しい業種番号が入力されているか確認してください。

データの作成

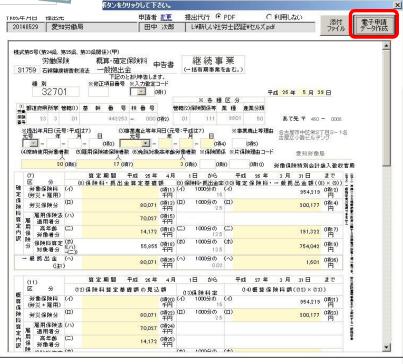
www.cells.co.jp







内容を確認し、電子申請データ作成をクリックします。



- 各項目の最大文字数 事業所・事業主の住所・・・49文字 事業所・事業主の名称・・・39文字 事業主の氏名・・・20文字 事業又は作業の種類・・・100文字
- 省略不可な項目 申請年月日 あて先の情報 労働保険番号 各種区分 申告済保険料額 充当額 還付額 不足額 事業の種類 申告書下部の事業所、事業主の情報
- データを修正したい場合は、「戻る」ボタンで年度更新画面に 戻って修正して下さい。



- ①「パーソナライズIDの登録」でパーソナライズ情報を登録(初回のみ)
- ②未送信トレイをクリック→Aの自動送信をチェック→リストを選択して「申請する」をクリック
- ③証明書(社労士認証の場合は発行元がSECOM)を選択してOKをクリック
- ④申請完了!!申請後の作業は別冊の「<u>申請した後のデータ管理</u>」をご覧ください。

- 送信する方法は2パターンあります。Aの送信設定チェックが「自動送信」になっている場合は、eGovホームページを起動 せずに、台帳システム内で全ての電子申請処理を行います。「手動送信」になっている場合は、パーソナライズ画面 からeGovホームページを起動し、eGovホームページ上で電子申請処理を行います(上部の流れは自動送信での説明です)。
- ①のパーソナライズIDの登録は初回のみ必要です。2回目以降は登録不要です。
- 「申請書の表示」ボタンから作成した電子申請データを確認できます。
- 「データフォルダ」ボタンから添付ファイルを含んだ電子申請データファイルが確認できます。
- 異なる事業所や手続き、管轄の手続きも1度にまとめて電子申請を行えます。

申請したデータの内容を確認するには・・・

www.cells.co.jp



- ①e-Gov一括電子申請の
- 「③送信済リスト」をクリック



②送信済みリスト一覧から確認したい申請データをダブルクリックするとフォームが起動します。





④起動した申告書画面で内容を確認

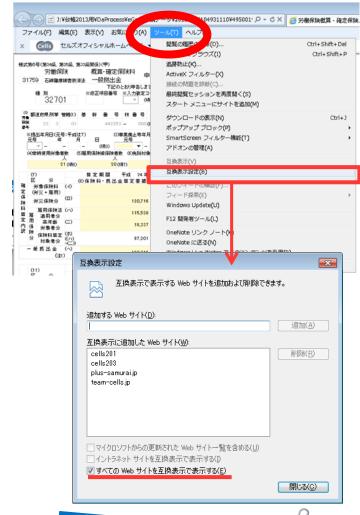
③「申請書の表示」をクリック



- ●申請する前にe-Gov一括電子申請「①未送信トレイ」からも、「申請書の表示」ボタンで同様に内容を確認できます。
- ●申告書は印刷すると2ページに分かれ、1枚に収めることはできません(縮小して1ページに納めるには60%まで縮小が必要です)。

申請データの表示が崩れて表示される場合

www.cells.co.jp



未送信トレイ、または送信済みリストから表示した データが崩れている場合、InternetExplorerの設定 で適正に表示させることができます。

InternetExplorerのメニューバーをクリックし「互換表示」をクリックします(チェックが入っている互換表示有効状態にします)。

「互換表示」がクリックできない場合は、「互換表示設定」をクリックし、『すべてのWebサイトで互換表示で表示する』にチェックを入れて「閉じる」ボタンで設定します。

ここがポイント!

●表示の崩れはパソコンの環境(InternetExplorerのバージョン)により起こる現象です。申請したデータ自体に問題はありません。

台帳で申請したデータの進捗状況を確認するには

www.cells.co.jp

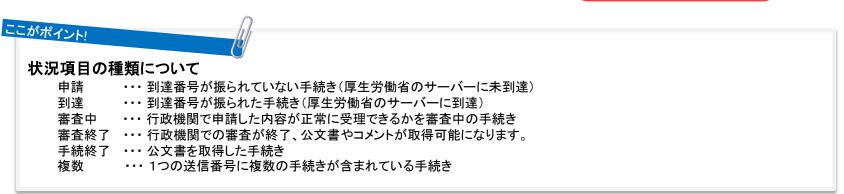
電子申請後しばらくして、更新ボタンをクリックするとパーソナライズ画面から情報を自動取得し、到達番号が表示されます。

電子申請した直後



数分後、更新ポタンをクリックすると到達番号、状況の項目が変化します。





「更新」ボタンについて

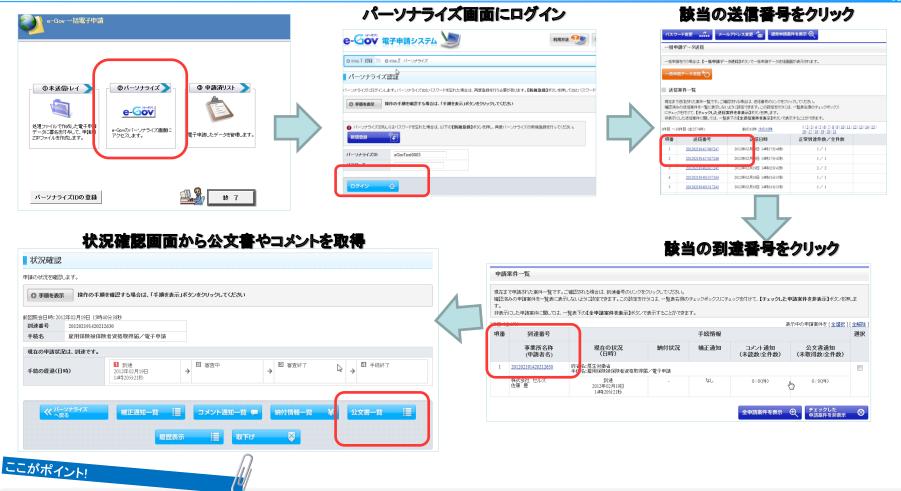


- 電子申請した直後は、「更新」ボタンをクリックしても、パーソナライズ画面で到達番号が振られていないため、 到達番号を取得できません。
- パーソナライズ画面でエラーとなっている手続きは、状況項目が「エラー」となり到達番号を取得できません。
- ・ 送信番号が表示されていない手続きは、更新ボタンをクリックしても到達番号を取得できません。手動送信で送信番号が入力されていないデータは手続きをダブルクリックして入力フォームから送信番号を入力してください。
- 申請済みリストの画面は常に直近14日の手続きが表示されます。(60日未満で変更も可能)
- パーソナライズ画面で「手続き完了」となっている手続きは、3ケ月経過すると内容が削除されます。 結果、送信済みリストで更新ボタンをクリックしても到達番号は取得できません。
- 「更新」ボタンをクリックしても、送信番号が入力されていない手続き、状況項目が「手続終了」になっている手続きは、パーソナライズ 画面から情報を取得しません。
- 過去の手続き内容を確認するときは、「検索」ボタンをクリックして日時枠の「指定する」項目にチェックをつけて日時を指定して実行 ボタンをクリックして下さい。
- 「状況」項目が複数になっている手続きは、手動送信や2012年2月以前に行った手続きで、複数の手続きをまとめて送信した手続きです。 複数の手続きが1つの送信番号に集約されている手続きは、「更新」ボタンをクリックしても到達番号を自動取得できません。
- 「更新」ボタンをクリックすると、パーソナライズ画面から、現在画面に表示されている手続きの情報を、全て取得します。(送信番号が未入力、状況項目が「手続終了」「エラー」「複数」になっているものを除く)画面に多くの手続きを表示している場合は、「更新」ボタンをクリックするとパーソナライズ画面からの情報取得に多くの時間を要します。(パソコンやインターネット接続環境により処理時間に差がでます)
- 「その他1」項目はメモ項目です。該当の手続きをダブルクリックするとメモを入力できます。文字色やセルの色変更はできません。

- 画面に表示されている手続きのみ情報が更新されます。
- 「検索」ボタンで画面に表示されている件数を少なくすると、わかりやすく短時間で作業が行えます。「検索」により画面に手続きが表示されていなくてもデータは残っています。
- 「削除」は手続きをダブルクリックして「削除」ボタンをクリックすると削除されます。削除したデータは戻すことができません。

公文書やコメントの取得

www.cells.co.jp

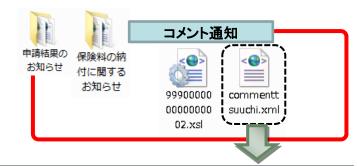


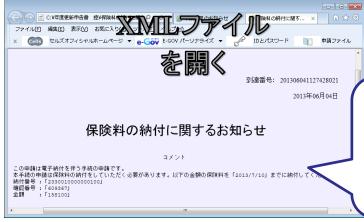
- 台帳から公文書やコメント通知の内容は取得できません。公文書やコメントは必ずパーソナライズ画面から取得して下さい。
- 公文書を取得して3ケ月経過した手続きは状況確認の画面が表示されなくなります。
- パーソナライズ画面の送信案件一覧画面は検索機能がありません。申請済みリスト画面でリストを印刷して、送信番号や送信 日時などを照らし合わせながら該当の手続きを探すと効率的です。

電子公文書・コメント通知の取扱い









公文書はPDFファイル コメント通知はXMLファ イルを開いて印刷

"この申請は電子納付を伴う手続の申請です"と表示されていますが、電子申請した場合も通常通り紙の納付書で納付することができます。

- 公文書は「台帳」からは取得できません。e-Govパーソナライズ画面から1申請手続きごとにダウンロードしてください。
- 公文書はPDFファイルで発行されます。コメント通知は同一フォルダ内にXSLファイルが存在しないと正常に表示できません。保存する際も一緒のフォルダ内に保存するようにします。メールなどで送る場合は、表示してからPDFファイルなどに変換することをお奨めします。
- 拡張子が表示されていないパソコンは拡張子を表示する設定に変更しておくことをお奨めします。フォルダオプションから"登録されている拡張子は表示しない"のチェックを外します。
- 公文書を取得し終わった申請は、約3カ月後にはe-Govパーソナライズの送信案件一覧から消えて、再度ダウンロードすることはできません。一度ダウンロードした公文書は、きちんと保管するようにしてください。